



## 夷隅川流域の生物多様性を大切に、 持続可能なまちづくり



私たちは、多様性豊かな生態系をもたらす夷隅川流域の環境保全活動を通じて、持続可能なまちづくりを行っています。

### 1. 夷隅川めぐみ、豊かで美しい里山・里海

私たちが暮らす地域を流れる夷隅川は、千葉県最大の流域面積を持ち、稲作など川の水を利用した農業が盛んです。また、全国で実施された「河川水辺の国勢調査」では生息する魚介類の種類の多さで、全国第2位にランクされているそうです。

また、いすみ市の沖合にいすみ市と同じくらいの広さがある「器械根」と呼ばれる磯根（岩礁地帯）があります。太東埼（たいとうさき）の沖合約20キロまで続く、水深13m～40mくらいの山あり谷ありの地形です。その海底には海藻が生い茂り、海中林を作っています。この中に、サザエ、アワビ、ウマズラ、イワシ、アジ、ヒラマサ、イセエビ、タコなどたくさん魚介類が生息しています。

そして、いすみ市沖から銚子沖にかけて、暖流の黒潮と寒流の親潮が出会います。このため、いすみ市では暖かい地域に住む生き物と寒い地域に住む生き物、両方が暮しています。

### 2. 生物の多様性

このような豊かで美しい自然に生まれ、いすみ市では千葉県で最も生息する生物の種類が多いそうです。天然記念物で絶滅危惧種のみやこたなごをはじめ、トウキョウサンショウウオなど珍しい生き物が暮しています。また、北からはコハクチョウが越冬に、南からはアカウミガメが卵を産みにやってきます。

### 3. 豊かな物産

自然が豊かで生き物の種類が多いということは、農業や漁業が盛んということでもあります。夷隅川と器械根から得られる自然の恵みが、「いすみブランド」に代表される農漁業から得られる物産品を生み出し、私たちの暮らしを豊かにしています。

### 4. 自然と生き物、私たちの生活を守るために

しかし、この自然の恵みを得るためには、この環境を壊さず、守っていくための工夫と活動が必要になってきていると言われています。

私たち NPO 法人いすみライフスタイル研究所では、地球環境基金の助成を受けて、2016年度より夷隅川流域の多様性豊かな生態系と環境の保全、そして、有機農業の促進をお手伝いする活動に取り組んでいます。

### NPO 法人いすみライフスタイル研究所

〒299-4616 千葉県いすみ市岬町長者475  
Tel: 0470-62-6730 Fax: 0470-62-6731  
E-mail: isumi-style@bz03.plala.or.jp

発行人: 高原和江 執筆・編集・DTP: 江崎 亮 イラスト: 清水京子 (シミキョウ)

※このポスターは地球環境基金助成金の助成を受けて2019年度作成し、2020年度増刷しました。  
※私たち NPO 法人いすみライフスタイル研究所は、環境保全活動をはじめ、国連で採択された「SDGs (Sustainable Development Goals-持続可能な開発目標-)」を視野に入れたまちづくりに取り組んでいます。



isumi-style.com